

沖縄型スタートアップ拠点化推進事業
(地域課題解決型スタートアップ支援事業)



“官民共創”に関する ワークショップ開催のお知らせ

南部
会場

2024年

5月20日(月)

13:00~17:00 (12:30開場)

沖縄総合事務局 10階経済産業部会議室

(那覇市おもろまち2-1-1 2号館10階)

自治体
向け

中北部
会場

2024年

5月21日(火)

13:00~17:00 (12:30開場)

沖縄市ITワークプラザ 研修室大

(沖縄市泡瀬3-47-10)



開催趣旨

沖縄型スタートアップ拠点化推進事業（地域課題解決型スタートアップ支援事業）では、県内の自治体とスタートアップ企業が連携・共創した実証プロジェクトを推進することにより、地域課題の解決・スタートアップ企業の県内定着を目指しています。

本ワークショップでは、身の回りの課題について、新たな目線で整理・深掘りしていただくとともに、官民共創の一步を踏み出すきっかけにいただければと思いますので、ぜひ積極的なご参加をお願いします。

プログラム（両日共通）

13:00-14:00 講演

14:15-15:45 ワークショップ

15:50-17:00 グループ発表

お申し込み



★こちらのフォームよりお申し込みください

QRコード読み込み又はクリック



お問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 企画振興課（上間、幸喜、上江洲）

TEL : 098-866-1727 E-mail : exl-Kadaikaiketsu@meti.go.jp

ワークショップ

「官民共創で解決する社会課題の抽出」

X 逆プロボ 課題の言語化、翻訳
コンシェルジュ

■選んだ「5メートルの課題」を、企業がビジネスのタネとして捉えられる形に翻訳してみましょう
(個人ワーク 1課題/10分 → グループワーク 2課題/20分)

【現状】課題の概要

課題のタイトル #ハッシュタグでキーワードも入れてみてください。
#観光 #ラストワンマイル #介護DX 等

【内容】課題の詳細 (誰が、どんなことに、どのように、どれくらい困り、どういう状況になっているか)
誰が、どんなことに、どのように、どれくらい困り、どういう状況になっているか
(数字があると更に良い)

【理想・ビジョン】あるべき姿・目指すゴール

共創の先にたどり着きたいゴールを共有

課題とあるべき姿のギャップ
(小1〜5大) 1 2 3 4 5
企業から見た時に、一線に取り囲む
意識がどれくらいあるかの理解へ

政策検討の自由度
(低1〜5高) 1 2 3 4 5
1は、自治体の希望通り
企業に聞いてほしい状態

他自治体との課題共通性
(低1〜5高) 1 2 3 4 5
共通性が高いほど、ビジネスとして
展開する余地が生まれる

現状と理想の
ギャップの埋め
方を考えるのは
企業の本質!

SOCIALLY

豊田市さんと開発した、官民共創のはじめの一歩を体験する、どなたも参加しやすいワークショップです。どちらの部署の方も、是非お気軽にご参加ください！



講師：(株)ソーシャル・エックス
PR/GR Director 志賀久美子

- 地域課題をざっくばらんに出し合い、実現に向けたレベル感に応じてカテゴリー分けします。日々の業務の中で感じている課題の中から、**どういった課題が行政と企業の連携（官民共創）で解決できるのか**をグループで考える、アイデア出しのワークショップです。
- 官民共創で解決したい課題が見つければ、それを**どのようにして企業がビジネスとして関心を持ちやすい形で表現するか**、グループで考えていきます。
- ここで出た課題はその後、1課題30分の壁打ちを通じて課題を磨きあげ、**後日開催する自治体によるガバメントピッチ（企業に対する社会課題のPR）に繋げていくことも可能です。**

＜分類するカテゴリ＞

企業との共創で解決
したい課題

部門横断や市民協働
にて解決出来る課題

やろうと思えば自部門で
解決出来る課題

実際は存在しない課題
優先度の低い課題

＜ワークショップの様子＞



・本事業では以下のステップを通して、官民共創により地域課題を解決していくはじめの一歩を体験いただきます。ぜひ奮ってご参加ください！



セミナー

課題抽出に当たって企業の考え方や官民共創のノウハウを学ぶ

ワークショップ

課題抽出のコツをワークショップ形式で体験する

課題の言語化

対象課題について解像度をあげるとともに、民間視点で書き換える

ガバメントピッチ

良質な
“地域課題発信”
“行政と企業の出会い”